

記者各位

2023年8月9日

さいたま市
出光興産株式会社

さいたま市のゼロカーボンシティ実現に向けた共創施策として
再生可能エネルギーの市内循環とEV向け充電サービスを開始

さいたま市（埼玉県さいたま市、市長：清水勇人）と出光興産株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：木藤俊一、以下、出光興産）は、「ゼロカーボンシティ実現に向けた共創推進に関する連携協定」（以下、本協定）のもと、さいたま市内のご家庭の太陽光発電の余剰電力を、出光興産（ブランド名：idemitsu でんき）を介し、昨年10月から同市の所有施設に供給しています。

また、本年7月に、出光興産系列のサービスステーション（以下、SS）であるセルフ浦和中尾SSに設置したEV急速充電器に再生可能エネルギー電力の供給を開始しました。さらに、同SSには、太陽光発電設備、蓄電池およびエネルギーマネジメントシステムを導入し、再生可能エネルギーの有効活用を図っております。

本協定は、出光興産とさいたま市が環境・エネルギーの分野で連携・協働し、さいたま市内の再生可能エネルギーの利活用を推進する取り組みで、今日までに以下4つの取り組みが実現しました。

【4つの取り組み概要】



- ① 出光興産（ブランド名：idemitsu でんき）が、市内のご家庭の太陽光発電の余剰電力^{*1}を買取り取るとともに、太陽光発電システムの異常の可能性をお知らせするサービスや、点検や修理に対応できる市内の事業者を紹介する窓口を設け、太陽光発電システムの長期有効活用をサポートしています。
- ② 買い取った太陽光の余剰電力を、idemitsu でんきの再生可能エネルギー電力「グリーンプラス（CO₂フリー）」^{*2}として、さいたま市の公共施設、セルフ浦和中尾SSに供給しています。

- ③ セルフ浦和中尾 SS では、本年 7 月に EV 急速充電サービスの提供を開始。お客様が EV に充電する電力も再生可能エネルギーとなっています。
- ④ セルフ浦和中尾 SS に太陽光発電システムを設置し、発電した電力を SS 内で使用しています。太陽光発電の余剰電力を蓄電池に充電し、電力が不足しやすい夕方等に放電するエネルギーマネジメントを行うことで、太陽光発電による電力を有効活用しています。

※1 ご家庭の太陽光発電の余剰電力：「再生可能エネルギーの固定価格買取制度（FIT 制度）」の買取期間が満了した太陽光発電設備の余剰電力

※2 グリーンプラス（CO2 フリー）：idemitsu でんきが供給する実質再生可能エネルギー 100%の電力（<https://denki.idemitsu.com/greenplus/>）

さいたま市は、環境省の第一回「脱炭素先行地域」として、大学や企業と連携した「グリーン共創モデル」を推進しており、出光興産との共創を通じた本取り組み等により、2050 年二酸化炭素排出実質ゼロ（ゼロカーボンシティ）の実現を目指しています。

出光興産は、「[中期経営計画（2023～2025 年度）](#)」において、地球環境に優しいエネルギーの供給や系列 SS を地域の暮らしを支える多様なエネルギー&モビリティ拠点「スマートよろずや」への変革を推進することを表明しています。

今後も両者は、再生可能エネルギーの導入拡大や、両者が有する知見や資産、技術の利活用により、ゼロカーボンシティの実現に向けた共創に取り組んでまいります。

【本協定の締結について】

2021 年 6 月 29 日出光興産ニュースリリース

<https://www.idemitsu.com/jp/news/2021/210629.html>

2021 年 6 月 29 日さいたま市お知らせ

<https://www.city.saitama.jp/001/009/015/009/p082396.html>

～ 本件に関するお問い合わせ先 ～

さいたま市 環境局/環境共生部/脱炭素社会推進課

https://www.city.saitama.jp/inquiry/mailform0015027.html?PAGE_NO=97914

出光興産株式会社 広報部広報課

https://www.idemitsu.com/jp/contact/advertising_flow/index.html